

7月の安全衛生歳時記

2024年7月の安全衛生カレンダー

1日～7日

4月1日～9月30日◎熱中症予防強化キャンペーン（熱中症関係省庁連絡会議）

6月1日～8月31日◎農薬危害防止運動（農林水産省）

6月1日～9月30日◎夏の省エネキャンペーン（経済産業省）

6月20日～7月19日◎薬物乱用防止「ダメ・ゼッタイ」普及運動（厚生労働省）

7月1日～7日○全国安全週間（厚生労働省、中央労働災害防止協会）○全国鉱山保安週間（経済産業省）

○河川水難事故防止週間（国土交通省）○フォークリフト安全週間（日本産業車両協会）

7月1日～31日◎海の月間（国土交通省）◎海岸愛護月間（国土交通省）◎河川愛護月間（国土交通省）

◎STOP! 熱中症クールワークキャンペーン重点取組期間（厚生労働省）

◎仮設機材安全推進月間（仮設工業会）◎「愛の血液助け合い運動」月間（厚生労働省）

7月1日～8月31日◎青い羽根募金強調運動期間（日本水難救済会）

1日（月）・国民安全の日（内閣府）

・省エネルギーの日（毎月1日）

・こころの日（日本精神科看護協会）

・PL法（製造物責任法）施行1995（平成7）

★梅雨前線豪雨で関東以西に水害、死者不明127人1962（昭和37）

2日（火）・ユネスコ加盟記念日日本がユネスコに加盟1951（昭和26）

★国宝の京都・金閣寺が放火で全焼1950（昭和25）、5年後に再建

★造船ドックで、船体の組み立て中船体の一部が落下、3人死亡、5人負傷千葉・市原1986（昭和61）

★アルミ工場のアルミスクラップ溶解炉で水蒸気爆発1人死亡、13人負傷福岡・久山町1993（平成5）

★化学工場材料をタンク容器に入れる作業中に爆発・火災1人死亡、11人負傷福井・若狭町2018（平成30）

3日（水）★東亜国内航空YS-11が函館付近の山に激突乗客・乗員68人全員死亡1971（昭和46）

★西日本を中心に豪雨、河川氾濫、山津波等で死者不明447人1972（昭和47）

★製鉄所で熱風炉が爆発、一酸化炭素を含む多量のガスが噴出、4人死亡、30人負傷広島・呉1988（昭和63）

★セラチア菌が原因とみられる集団院内感染で7人死亡が判明大阪・堺2000（平成12）

★不法な盛土が大雨で崩壊して流出し、多くの家屋が流失・埋没、死者26名静岡・熱海2021（令和3）

★ビル2階の飲食店でガス爆発漏れていたガスにライターの火から引火、店員2人と通行人2人重軽傷東京・港区2023（令和5）

4日（木）★化学工場でエポキシ樹脂プラントが爆発炎上1人死亡3人負傷愛媛・新居浜1993（平成5）

5日（金）★造船工場で鉄製部品が崩れ落ち2人死亡、2人重傷広島・呉2004（平成16）

★パチンコ店で放火による火災4人死亡、19人負傷大阪・大阪市2009（平成21）

★「平成29年7月九州北部豪雨」福岡・大分2県中心に記録的大雨死者不明41人、浸水・家屋損壊2千棟以上2017（平成29）

★砂利運搬船内で、ポンプでタンクの水抜き作業中酸欠で3人死亡大阪・港2020（令和2）

6日（土）・小暑（しょうしょ）24節気の一つ、梅雨が上って暑さが厳しくなる時期

・ワクチンの日1885年、バスターが初めて狂犬病ワクチンを接種

★建設会社の作業員宿舍が火災、8人死亡鉄骨3階建て1,200mを全焼神奈川・海老名1994（平成6）

★「平成30年7月豪雨（西日本豪雨）」広範囲で長期間の大雨、特に岡山・広島・愛媛で大きな被害、死者不明245人2018（平成30）

★産廃会社倉庫で大量のスプレー缶の穴開けガス抜き中爆発・火災2人死亡、2人重体大阪・高槻2019（令和元）

★日用品メーカーの工場から出火、状況確認に入った消防隊員ら4人死亡静岡・吉田2020（令和2）

★バイパス立体化工事現場で約50mにわたり橋梁が崩れて落下作業員2人死亡、6人重軽傷静岡・静岡2023（令和5）

7日（日）・七夕

・川の日（国土交通省）

★低気圧が梅雨前線を刺激、九州～関東各地で豪雨、死者不明371人1967（昭和42）

★石油化学工場でアセチレン水添塔からガスが漏れて爆発、80時間燃え続け1人死亡山口1973（昭和48）

★橋梁建設工事中にアーチ鋼が落下して5人死亡4人負傷秋田・田沢湖1993（平成5）

★生コン会社で、砂貯蔵サイロ修理中砂が崩落、2人が埋って死亡愛媛・松山2012（平成24）

7月の安全衛生歳時記

8日~19日

- 8日(月)・安倍晋三元首相銃撃事件 奈良市の近畿日本鉄道大和西大寺駅前で街頭演説中に銃撃され死亡 2022(令和4)
★発電機の排ガスでCO中毒、25人死亡、60人負傷 用水トンネルで土砂崩れ復旧作業中 栃木・黒磯 1966(昭和41)
★自動車部品工場で型枠製造鋳型内部を清掃中閉じ込められ2人死亡1人重傷 岩手・北上 2004(平成16)
★川底整備作業中急に増水、1人が逃げ遅れて死亡 東京・大田 2008(平成20)
- 9日(火)・製品安全点検日(毎月第2火曜、経済産業省)
・福岡県の古代遺跡「宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産に 2017(平成29)
★「昭和42年7月豪雨」西日本各地に集中豪雨、死者不明369人、損壊・浸水家屋30万棟以上 1967(昭和42)
★化成品工場でCO中毒、1人死亡1人重体 一酸化炭素のタンクの配管弁取替え中一酸化炭素が噴出 愛媛・松山 2003(平成15)
- 10日(水)・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)
・国土建設記念日(国土交通省)
・潤滑油の日(全国石油工業会)
★大雨の土石流砂防ダムを超えて民家を襲い21人が死亡 鹿児島・出水 1997(平成9)
★橋脚工事現場で水抜き作業中、排水ポンプの排ガスによるCO中毒で2人死亡 和歌山・紀の川 2006(平成18)
- 11日(木)・職業教育の日(全国専修・各種学校総連合会)
・タイの洞窟に閉じ込められたサッカー少年ら13人、18日目に奇跡の救出完了 2018(平成30)
★アンモニア合成工場で水素ガス精製装置が爆発 消火中の二次爆発で消防関係者ら11人死亡、44人負傷 山口・宇部 1959(昭和34)
★東名高速日本坂トンネル内で玉突き事故 173台が炎上、7人死亡、消火に1昼夜以上 1979(昭和54)
★製鉄所で溶解鉄が流出して1人死亡、2人重軽傷 取鍋から溶鋼が流出 福岡・北九州 2003(平成15)
- 12日(金)・人間ドックの日 1954(昭和29)年のこの日、国立第一病院(現在の国立国際医療センター)で人間ドックが始められた
★北海道南西沖地震(M7.8) 大津波で奥尻島の被害甚大、死者不明230人 1993(平成5)
★八甲田山で、窪地に滞留していた火山性ガスにより訓練中の自衛隊員3人が死亡 1997(平成9)
★「平成24年7月九州北部豪雨」11日~14日にかけて記録的豪雨、死者30人 2012(平成24)
- 13日(土)★化学工場でアンモニアタンク清掃中酸欠、4人死亡 大阪 1978(昭和53)
★「平成16年7月新潟・福島豪雨」新潟県中越地方と福島県会津地方で記録的豪雨、死者16人・負傷83人 2004(平成16)
- 14日(日)・検疫記念日 1879(明治12)年、コレラ(虎列刺)病伝染予防規則が公布されたのを記念
・ユネスコが北海道の知床を世界自然遺産に 国内の登録3件目 2005(平成17)
★倉庫で爆発火災 無許可貯蔵危険物に誘発爆発し消火に当たった消防職員ら19人が死亡、114人が負傷 東京・品川 1964(昭和39)
★新名神高速道路延伸工事現場で、落下した鉄筋10本の下敷きになり作業員が死亡 滋賀・大津 2022(令和4)
- 15日(月)・海の日(毎年7月の第3月曜)
★磐梯山が噴火、山体崩壊による岩石、泥流で村落が埋没し477人犠牲 1888(明治21)
★製薬工場で医薬品製造作業中に爆発、13人死亡、22人負傷 東京・大田 1958(昭和33)
- 16日(火)○海の事故ゼロキャンペーン(~31日、海上保安庁)
・国土交通デー(国土交通省)
★局地的な雨により国道305号線で崖崩れ 走行中のマイクロバスが巻き込まれ乗員乗客15人死亡 福井・越前町 1989(平成元)
★大阪・堺で病原性大腸菌O-157による大量食中毒 患者約1万人、児童2人が死亡 1996(平成8)
★「新潟県中越沖地震(M6.8)」長岡市、柏崎市、刈羽村で震度6強、15人死亡、重軽傷2,345人、原発にも被害 2007(平成19)
★北海道の大雪山系トムラウシ山などで遭難相次ぎ、中高年のツアー客ら10人死亡 2009(平成21)
- 17日(水)★雑居ビルで配電盤の点検作業中感電、3人重軽傷 熊本・熊本 2004(平成16)
★土砂運搬船内で油圧装置交換作業中爆発、修理作業員3人死亡 千葉・富津 2012(平成24)
- 18日(木)・二輪・自転車安全日(毎月18日、警視庁)
★製油所で塩素脱水塔が爆発して塔内の塩素ガスが噴出、1人死亡、11人負傷 岡山・倉敷 1975(昭和50)
★汚水槽の汚泥除去作業中、硫化水素中毒で3人死亡 神奈川・横浜 2002(平成14)
★JR長崎本線肥前長田~小江駅間で特急列車が脱線・横転、36人負傷 長崎・諫早 2003(平成15)
★市内記念行事のため屋外で航空写真撮影中、38人が熱中症 宮城・名取 2018(平成30)
★京都アニメスタジオ(鉄筋3階建て691m)がガソリン放火され全焼 36人死亡、34人重軽傷 京都・伏見 2019(令和元)
- 19日(金)・食育の日(毎月19日、内閣府)
★「平成18年7月豪雨・長野県岡谷市土石流災害」長野県岡谷市で大雨による土石流で死者8人、負傷12人 2006(平成18)
★ポンプ交換作業中、吊り上げたポンプが回転、挟まれて2人死傷 愛知・名古屋 2018(平成30)
★市立小学校で変圧設備点検作業中、感電して1人死亡 滋賀・大津 2020(令和2)

7月の安全衛生歳時記

20日~31日

20日(土)・マイカーチェックデー(毎月20日)

- ★島根県西部の記録的豪雨で堤防決壊、がけ崩れなど多発、117人死亡 1983(昭和58)
- ★熊本県水俣市土石流災害 猛烈な雨で市内2ヶ所で大規模な土石流災害、死者19人、負傷7人 熊本・水俣 2003(平成15)
- ★米子空港から但馬空港に向けて飛行中の2人乗りヘリコプターが遭難、乗員2人死亡 鳥取 2009(平成21)
- ★送毛トンネルでマイクロバス・大型トラック・RV車が多重衝突事故 死者2人、負傷37人 北海道・石狩 2010(平成22)
- ★市道工事現場で穴掘削中に土砂崩れ、作業員が埋まって死亡 鹿児島・南九州 2022(令和4)

21日(日)○森と湖に親しむ旬間(～31日、林野庁)

- ◎自然に親しむ運動(～8月20日、環境省)
- ★飼料製造設備の工事中、発生したガスにより酸欠、6人死亡 静岡・静岡 1971(昭和46)
- ★花火大会の見物客が歩道橋で将棋倒し、11人死亡、200人以上負傷 兵庫・明石 2001(平成13)
- ★山口県で記録的豪雨により土石流発生、老人ホーム入所者ら17人死亡 山口・防府 2009(平成21)

22日(月)・大暑(たいしよ)

- 肝臓週間(～7月28日[28日の肝炎デーを含む月曜からの一週間]、厚生労働省)
- ★花火製造所で打ち上げ花火爆発、8人死亡、6人負傷 岐阜 1955(昭和30)
- ★セメント工場の石炭サイロで石炭が自然発火し爆発事故、重傷2人 兵庫・赤穂 2003(平成15)

23日(火)★「長崎県諫早水害」長崎市周辺に集中豪雨 死者不明299人、損壊・浸水家屋38,000棟以上 1982(昭和57)

- ★島根県を中心に集中豪雨 河川氾濫や土砂崩れ多発、死者不明107人、負傷159人 1983(昭和58)
- ★化粧品原料製造工場で爆発・火災、2人死亡 鮭の骨を脱脂するためのアセトンに引火 北海道・釧路 2013(平成25)

24日(水)・テレビ放送が東日本大震災被災3県を除き地上デジタル放送に移行 2011(平成23)

- ★工場内の資材用エレベーターの点検中にカゴが落下、作業員が下敷きになり死亡 三重・伊賀 2022(令和4)

25日(木)★九州西部に豪雨、死者不明992人 1957(昭和32)

- ★和歌山カレー毒物殺人事件 夏祭りのカレーを食べた住民4人が死亡 1998(平成10)
- ★精錬所で転炉のレンガ張替え作業中、耐火レンガが崩落して5人死亡 岡山・玉野 2002(平成14)
- ★貨物船(パナマ船籍)が座礁し燃料が流出、乗組員4人が死亡、19人負傷 鹿児島・大崎町 2002(平成14)
- ★滝つぼに転落した女性を救助中の防災ヘリが墜落、機長・レスキュー隊員ら5人死亡 埼玉・秩父 2010(平成22)
- ★砂防ダム建設工事中、雨で増水した川に流されて作業員が2人死亡 大分・由布 2023(令和5)

26日(金)★大規模な地滑りが老人ホーム等押し潰し26人死亡 長野・長野 1985(昭和60)

- ★非鉄金属精錬所で熱交換器の補修中有毒ガスにより中毒3人死亡、24人負傷 福島 1993(平成5)
- ★離陸直後の小型機が墜落、民家の1人を含む3人が死亡 東京・調布 2015(平成27)
- ★ビル建設現場で鉄骨溶断の火花がウレタンに引火して火災5人死亡、42人重軽傷 東京・多摩 2018(平成30)

27日(土)・第30回ロンドン五輪が開幕、全競技への女性参加が実現 2012(平成24)

- ・国連グレーテス事務総長が「地球沸騰」の時代が来た」と発言「観測史上最も暑い夏になる」との見通し 2023(令和5)

28日(日)・世界肝炎デー(WHO)・日本肝炎デー(厚生労働省)

- ★貨物船同士が衝突沈没 パナマ籍貨物船が日本籍貨物船と衝突沈没 24人死亡 大分県佐伯市沖 1974(昭和49)
- ★下水道工事現場でフォークリフトの排ガスで一酸化炭素中毒、10人重軽傷 愛知・名古屋 2003(平成15)
- ★上流の局地的豪雨で都賀川の水位が急上昇、川遊びの児童ら5人が流され死亡 兵庫・神戸 2008(平成20)
- ★製紙工場で配管が破裂してアンモニア水が漏出、1人死亡、2人負傷 愛知・春日井 2017(平成29)
- ★電気工事会社敷地内でクレーン車で電柱を移動中、電柱が倒れて作業員が下敷き、死亡 千葉・千葉市 2022(令和4)

29日(月)・隅田川花火大会復活 1978(昭和53)年、隅田川の汚染などで中止されていたが17年ぶりに復活

- ★電子部品製造工場、不具合点検のため焼結炉に入った2人が酸欠で死亡 宮城・仙台 2020(令和2)

30日(火)・東北自動車道全通記念日 1986(昭和61)年のこの日、埼玉浦和～青森間674Kmが全通、着工以来20年

- ★全日空機と自衛隊戦闘機が空中衝突 全日空機の乗客乗員162人全員死亡 岩手・雫石上空 1971(昭和46)
- ★博物館で地中からの天然ガスが爆発、1人死亡、1人重傷 千葉・九十九里 2004(平成16)
- ★製パン店で換気不良で従業員と客12人がCO中毒、中2人重傷 大阪・住吉 2008(平成20)
- ★改装工事中の飲食店で、プロパンガス爆発、点検にきた現場責任者死亡、通行人ら19人重軽傷 福島・郡山 2020(令和2)

31日(水)★海水浴場で落雷、1人死亡、8人重軽傷 千葉・九十九里浜 2005(平成17)

- ★市営プールで小2女児が吸水口に吸い込まれて死亡 埼玉・ふじみ野 2006(平成18)
- ★苫小牧港沖のフェリー船内で、積載の車両から出火し火災 死者1人、他の乗員乗客は脱出 北海道 2015(平成27)

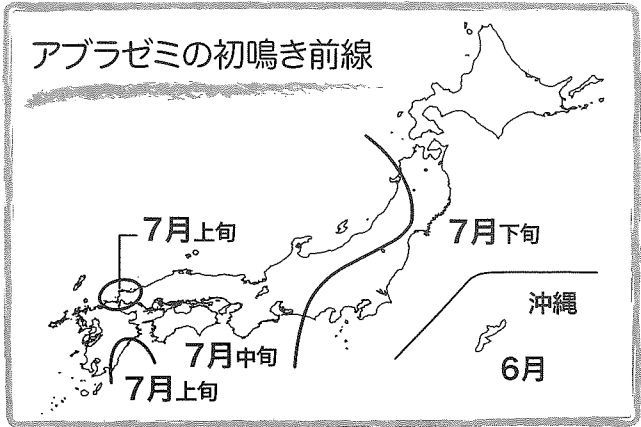
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

7月の安全衛生歳時記

7月の気象と防災管理

	日の出・日の入		気温 (°C)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道 (札幌)	4:09	19:12	21.1	75	168.0
青森	4:18	19:07	21.8	80	161.4
岩手 (盛岡)	4:20	19:02	22.4	80	130.5
宮城 (仙台)	4:25	19:00	22.9	83	126.3
秋田	4:24	19:07	23.4	79	150.3
山形	4:27	19:02	23.9	76	144.5
福島	4:28	19:00	24.3	77	125.2
茨城 (水戸)	4:32	18:56	24.2	82	150.8
栃木 (宇都宮)	4:34	18:59	24.8	79	118.9
群馬 (前橋)	4:37	19:02	25.8	73	146.3
埼玉 (熊谷)	4:37	18:58	26.0	76	146.0
千葉 (銚子)	4:35	18:55	23.5	90	174.0
東京	4:37	18:57	25.7	76	151.4
神奈川 (横浜)	4:38	18:57	25.6	78	170.9
新潟	4:34	19:06	24.9	79	162.1
富山	4:44	19:10	25.5	79	153.3
石川 (金沢)	4:47	19:12	25.8	75	167.2
福井	4:50	19:12	26.1	76	155.4
山梨 (甲府)	4:41	19:02	26.0	72	168.2
長野	4:40	19:06	24.3	75	168.8
岐阜	4:49	19:08	27.0	73	166.5
静岡	4:44	19:01	26.1	79	157.9
愛知 (名古屋)	4:49	19:07	26.9	73	166.0
三重 (津)	4:52	19:08	26.8	75	180.2
滋賀 (彦根)	4:54	19:11	26.1	77	169.8
京都	4:54	19:11	27.3	69	142.7
大阪	4:56	19:12	27.7	70	184.0
兵庫 (神戸)	4:57	19:13	27.1	74	189.4
奈良	4:55	19:10	26.2	76	158.8
和歌山	4:59	19:12	27.2	73	206.1
鳥取	4:59	19:19	26.2	76	166.5
島根 (松江)	5:04	19:23	25.8	80	168.6
岡山	5:02	19:18	27.0	74	169.8
広島	5:09	19:23	27.2	73	173.4
山口 (下関)	5:13	19:27	26.5	79	172.4
徳島	5:01	19:14	26.8	77	192.0
香川 (高松)	5:03	19:17	27.5	73	191.8
愛媛 (松山)	5:09	19:20	27.1	72	189.0
高知	5:07	19:17	27.0	79	173.7
福岡	5:19	19:29	27.4	75	172.2
佐賀	5:20	19:29	27.2	76	164.8
長崎	5:23	19:29	26.9	80	175.3
熊本	5:20	19:26	27.5	76	176.7
大分	5:15	19:24	26.8	77	180.8
宮崎	5:19	19:21	27.3	78	198.0
鹿児島	5:23	19:24	28.1	76	185.5
沖縄 (那覇)	5:46	19:24	29.1	78	227.0

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



●7月は梅雨の後半です。南からの暖かく湿った空気が前線を刺激し、大雨や集中豪雨が多発して、近年では、山崩れやがけ崩れ、土石流などの土砂災害や洪水による大きな被害が発生しています。雨が地中にしみ込まないために起こる都市型水害も起きています。要注意です。

●7月後半になると、1年で最も気温が高く暑い時期になります。梅雨明けで身体が暑さに順化していない時期には、重篤な熱中症を発症しがちです。運動の後や屋外での作業の際など、水分や適量の塩分補給などを心がけましょう。

7月は「STOP!熱中症クールワークキャ 呼称を励行して事故・災害を防止しましょう。

●この時期の高温・多湿は、職場の安全衛生面にも様々な問題を引き起こします。暑さや肉体疲労による作業手順の省略や保護具の未使用、軽装や発汗による皮膚の電気抵抗の低下等による感電災害、高温・多湿による機械設備や化学物質の異常なども起こりがちです。ミーティングやKY、作業場や設備の始業前点検を確実に実施しましょう。作業中は、安全確認や指差し

7月の安全衛生歳時記

7月1日 国民安全の日

みんなで築く安全・安心

年齢階層別にみた不慮の事故の種類別死亡者数 (2022年)

死 因	全年齢	0 歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~29歳	30~44歳	45~64歳	65~79歳	80歳~	年齢不詳
総数	43,420	60	59	28	34	669	838	3,584	10,910	27,196	42
交通事故	3,541	3	18	10	9	336	282	729	1,130	1,024	-
転倒・転落・墜落 (同一平面上での転倒) (階段・ステップ等からの転落)	11,569 (9,687) (593)	1 (-) (-)	7 (1) (-)	- (-) (-)	4 (2) (-)	72 (16) (5)	110 (36) (7)	566 (263) (67)	1,700 (1,062) (199)	9,109 (8,307) (315)	- (-) (-)
不慮の溺死及び溺水 (浴槽内での溺死・溺水)	8,677 (6,679)	1 (1)	7 (4)	14 (5)	15 (6)	99 (34)	85 (23)	544 (299)	3,073 (2,387)	4,827 (3,920)	12 (-)
その他の不慮の窒息 (胃内容物の誤えん) (食物の誤えん) (その他の物体の誤えん)	8,710 (1,171) (4,696) (2,284)	53 (11) (5) (5)	19 (7) (5) (3)	3 (1) (2) (-)	2 (1) (-) (-)	32 (13) (7) (3)	101 (24) (38) (17)	619 (94) (341) (96)	1,964 (216) (1,152) (454)	5,916 (804) (3,145) (1,706)	1 (-) (1) (-)
煙・火及び火災へのばく露	967	-	-	-	2	8	27	151	341	426	12
熱及び高温物質との接触	48	-	-	-	-	-	-	1	10	37	-
自然の力へのばく露	2,942	-	6	-	-	16	57	348	984	1,517	14
有害物質による中毒・ばく露	569	-	-	-	2	54	111	211	103	86	2
その他及び詳細不明の不慮の事故	5,765	2	2	-	-	24	27	257	1,374	4,078	1

※() 内は内数 [一部抜粋]

資料：厚生労働省「人口動態統計」

7月1日は「国民安全の日」です。(主唱・内閣府)
国民安全の日は、「国民の一人ひとりが生活のあらゆる面でその安全確保に留意し、日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図る」ことを目的に、昭和35年以来毎年実施されています。

我が国の不慮の事故による死亡者数は、近年4万人前後で推移していますが、65歳以上の高齢者の比率が2022年も前年同様に全体の約88%と高止まりで、職場と同様に、高齢者の事故防止が重要な課題となっています。

2022年の不慮の事故による死亡者数を年齢階層別にみると(上表)、80歳以上では「転倒」が最も多く、次いで「誤えんによる窒息」、「浴槽内での溺死・溺水」の順となっていますが、65歳以上では「浴槽内での溺死・溺水」が最多で、「誤えんによる窒息」、「転倒」と続き、5歳~64歳までは「交通事故」が多く、これは近年の傾向となっています。

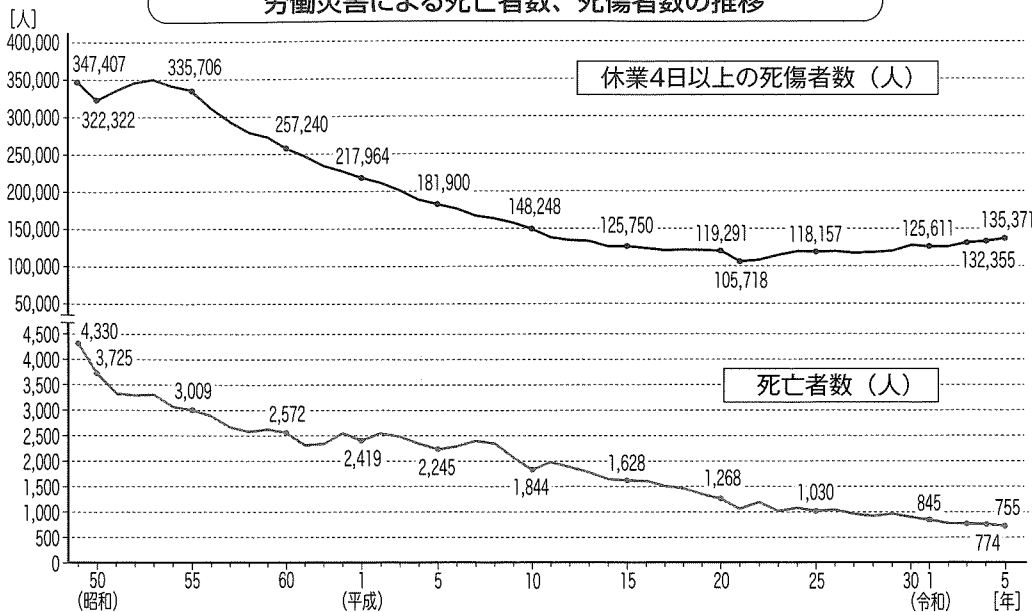
事業場等で安全衛生活動に取り組んでいる私たちは、日頃身につけた安全衛生の知識と技術を活かして、職場や家庭内をはじめ、あらゆる場所での事故・災害防止に取り組みましょう。

7月の安全衛生歳時記

危険に気付くあなたの日 —— 令和6年度スローガン ——
 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全

1日~7日 全国安全週間

労働災害による死亡者数、死傷者数の推移



出典：令和5年 労働災害発生状況 [厚生労働省労働基準局]
 平成23年までは、労災保険給付データ（労災非適用事業を含む）、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成
 平成24年からは、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成
 ※新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除いたもの

7月1日から7日までは令和6年度「全国安全週間」です。
 (主唱：厚生労働省、中央労働災害防止協会)

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来一度も中断することなく続けられ、今年で97回目を迎えます。

この間、労働災害は長期的には減少しています。令和5年の労働災害発生状況を見ると、死者数は755人で昨年同期から19人少なく、平成30年以降減少が続いています。ただ、休業4日以上の死傷災害については死傷者数が13万5千371人と前年より3016人上回り、平成21年以降の増加傾向が続いて、平成12年(2000年)以降で最多となりました(上図参照)。

労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くため、令和5年3月に策定された「第14次労働災害防止計画」に基づく施策を着実に推進するための不断の努力が必要であり、計画年次2年目となる本年度も、事業者と労働者が一丸となった取組が求められています。

6月の「準備期間」に見直し・検討した事項について、「安全週間」をスタートとして継続した活動につなげていきましょう。

7月の安全衛生歳時記

STOP! 熱中症クールワークキャンペーン

7月1日~31日「重点取組期間」

熱中症による死傷者数の業種別の状況 (2019~2023年)

業種	建設業	製造業	運送業	警備業	商業	清掃・ と畜業	農業	林業	その他	計
2019年	153 (10)	184 (4)	110 (2)	73 (4)	87 (1)	61 (0)	19 (0)	7 (0)	135 (4)	829 (25)
2020年	215 (7)	199 (6)	137 (0)	82 (1)	78 (2)	61 (4)	14 (1)	7 (0)	166 (1)	959 (22)
2021年	130 (11)	87 (2)	61 (1)	68 (1)	63 (3)	31 (0)	14 (2)	7 (0)	100 (0)	561 (20)
2022年	179 (14)	145 (2)	129 (1)	91 (6)	82 (2)	58 (2)	21 (2)	6 (0)	116 (1)	827 (30)
2023年	209 (12)	231 (4)	146 (1)	114 (6)	125 (3)	61 (0)	27 (4)	9 (0)	184 (1)	1,106 (31)
計	886 (54)	846 (18)	583 (5)	428 (18)	435 (11)	272 (6)	95 (9)	36 (0)	701 (7)	4,282 (128)

※() 内の数値は死亡者数で内数

[厚生労働省 HP より]

7月1日から31日は、STOP!熱中症クールワークキャンペーンの「重点取組期間」です。厚生労働省は、中央労働災害防止協会ほか防災団体と連携して、平成29年(2017年)から本キャンペーンを展開し、職場における熱中症予防対策の推進を図っています。

本キャンペーンは、4月を準備期間、5月から9月が実施期間ですが、8月同様に熱中症が多発し、また、身体が暑さに順化していないため重篤化しやすい7月を「重点取組期間」としています。

23年の職場における熱中症の発生状況は、休業4日以上死傷者が1106人で、「地球沸騰化」といわれた記録的猛暑の中、21年から増加に転じた22年よりさらに増加しました。

死傷者数を業種別にみると、昨年1年間も製造業と建設業で多く発生しており、この2業種で全体の約4割を占めました。

死亡者数は総数が31件で、前年より1人増えています。そのうちWBG T値(暑さ指数)の把握が確認できなかった事例が25件、発症時・緊急時の措置の確認や周知がされていなかった事例が28件でした。

これらをふまえ、すべての業種において、「職場における熱中症予防基本対策要綱(令和3年4月20日付け基発0420第3号)に基づき、WBG T値の低減、休憩時間や涼しい休憩場所の確保など、基本的な熱中症予防対策を講じて行きましょう。